

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 31年 3月 21日

事業所名 放課後等デイサービス まわあえん

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|----|--|------|-----|---|--|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 100% | 0% | ・パーテーションを活用し、活動スペースを分ける等工夫をしている。 | |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 100% | 0% | | |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 100% | 0% | ・車椅子の利用者が来所の際は、出入りに折り畳み式のスロープを設置している。 | |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 86% | 0% | ・毎日や月に1回、支援会議を行なっている。 ※1無回答 | |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 100% | 0% | | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 100% | 0% | | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 86% | 14% | ・外部講師に相談、助言を受けている。 | 第三者による外部評価を検討する。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 100% | 0% | ・研修会の実施、参加をしている。 | |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 57% | 0% | | ・今後も勉強を重ね、より適切な計画を立てたい。/ ・計画作成に参加(参画)の機会が、指導員にもあると良い。 ※3名無回答 |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 29% | 0% | | ・標準化されたアセスメントツールについて知り、学ぶところから始める必要がある。 ※5名無回答 |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 86% | 14% | ・日々PDCAサイクルを繰り返し、チームで活動している。/ ・活動開始前のミーティング等で実施している。 | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 100% | 0% | ・季節や気候、ねらいを考慮し、工夫している。/ ・曜日によって活動が同じだが、内容に変化をもたせ、工夫している。 | |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 100% | 0% | ・個別、集団それぞれの目標設定をしている。/ ・個別活動では、個人に合わせて細かく課題を設定し、支援している。 | |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 100% | 0% | ・個々の興味関心、体調面、来所時間等、様々なことを考慮し、参加しやすい計画を立てよう努めている。 | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 100% | 0% | ・毎日のミーティングで話し合い、共有、記録をしている。また、活動内容によっては役割分担を細かく決めている。 | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 100% | 0% | ・翌日のミーティングで、行っている。 | |

| | | | | | | |
|--------------|----|---|------|-----|---|---|
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 100% | 0% | ・サービス提供記録、個人記録に細かく記録を残している。 | |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 100% | 0% | ・日々のミーティングでも、指導員間で情報の共有に努めている。 | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている | 71% | 0% | ・ガイドラインの総則に、繰り返し目を通す必要がある。 ※2名無回答 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 71% | 0% | | ・知識、経験不足。今後、様々な研修等に参加し、相応しい者となるよう励む。 ※2名無回答 |
| | 21 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている | 86% | 0% | ・月に1回、報告書を作成し、学校と情報共有をしている。/・送迎時に担任の先生と直接話す機会がある。 ※1名無回答 | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | 29% | 0% | ・保護者や学校を通じて情報を得よう努めている。 ※5名無回答 | |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | 57% | 0% | ・支援会議等に参加し、情報共有に努めている。/・相談支援専門員を通して情報共有がなされている。 ※3名無回答 | |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | 0% | 0% | | ・これまで該当する利用者がいなかったが、事業所の理念を踏まえ、今後、移行が円滑に行えるように、支援や記録等態勢を整える必要がある。 ※7名無回答 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 43% | 0% | ・相談支援専門員に相談し、助言を受けている。 ※4名無回答 | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | 14% | 29% | ・交流を計画、実行したことはないが、公共の場での活動は度々行っており、その際に接することはある。/・学校間では行われている。 ※4名無回答 | |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | 0% | 0% | ※7名無回答 | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 86% | 0% | ・サービス提供記録や連絡ノート、送迎時のやりとりを通して様子を伝え合っている。/・学校での発表会やワークショップ等に参加し、保護者と成長を共に喜び合う等している。 ※1名無回答 | |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | 43% | 0% | ・接遇マナー研修を行っている。/・相談支援専門員を通して、家庭の様子を知り、それを踏まえ支援している。/・必要に応じて助言をしている。 ※4名無回答 | |
| | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 71% | 0% | ・契約時に行っている。 ※2名無回答 | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 57% | 0% | 相談支援専門員と共に応じている。/・経験上の助言となるが、丁寧な対応を心がけている。 ※3名無回答 | |

| | | | | | | |
|------------|---------|--|---|-----|--|---|
| 保護者への説明責任等 | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 57% | 0% | | ・交流会が予定されている。/・今後、保護者会の立ち上げを提案したい。 ※3名無回答 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 57% | 0% | ・意見箱を設置している。/・職員間で共有すると共に、上司へ速やかに報告し、対応をしている。 ※3名無回答 | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 71% | 0% | ・毎月、報告書を発信している。/・長期休みには、活動概要や行事予定について子どもや保護者が分かりやすいように、挿絵付の手書きの予定表を作成し、発信している。 ※2名無回答 | |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | 86% | 0% | ・個人が特定できる書類等は、施錠される金庫に保管する等、慎重に取り扱っている。また事業所外では、個人情報について話題にしない。 ※1名無回答 | |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 71% | 0% | ・端的に伝えることを心掛けている。 ※2名無回答 | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 0% | 43% | | ・地域住民と挨拶を交わしたり、日々の配慮に感謝を伝えたりし、理解を深め、地域と繋がりを持てるようにする。 ※4名無回答 |
| | 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 71% | 0% | |
| 39 | | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 86% | 0% | | ・火災だけでなく、その他様々な非常災害の訓練が必要。・避難用バッグの中身等定期的に確認することも必要。/・年に数回定期的にも実施することが求められる。 ※1名無回答 |
| 40 | | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 86% | 0% | ・定期的に研修の機会を設け、虐待防止に努めている。 ※1名無回答 | |
| 41 | | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 14% | 0% | ・現状では身体拘束は必要ない。 ※6名無回答 | |
| 42 | | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 29% | 0% | | ・現状では、食物アレルギーのある子どもはいないが、常に意識し、情報を得る努力をする。 ※5名無回答 |
| 43 | | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 86% | 0% | ・毎日のミーティングで話し合い、対応策を考え共有している。 ※1名無回答 | |